



# 設楽ダムだより

第161号

工事現場特集

2024. 2



付替県道瀬戸設楽線

日掛トンネル・新大名倉トンネル特集

設楽ダム建設に伴って付け替えられる道路によって7つの新しいトンネルが作られます。今回は、付替県道瀬戸設楽線の2つのトンネル工事を進めている清水建設株式会社の石川俊明さんと後藤智紀さんに話を伺いました。



– 清水建設さんの現場ではどのような工事をしているか教えてください。

私たちは、2つのトンネルの工事と、トンネルの間の道路をつくる工事をしています。令和3年4月から着手していますが、延長93mの日掛トンネルは令和5年10月に貫通し、延長305mの新大名倉トンネルは令和4年12月に無事貫通しました。令和6年3月の工期末に向けて、現在は坑門工と呼ばれるトンネルの出入口（坑口）の仕上げをしているところです。



清水建設株式会社の石川さん(左)と後藤さん(右)

– 2つのトンネルとは別に、新大名倉トンネルの下を走るもう1つトンネルがありますが、あちらのトンネルは何でしょうか。

もう1つのトンネルは実は工事用につくったトンネルなんです。この工事は、設計段階から施工者が関与する契約方式（ECI方式\*）の工事で、元々は工事用道路として仮栈橋をつくる設計だったのですが、工期短縮とコスト削減の観点から工事用のトンネルをつくることを私たちから提案しました。掘り進めた工事用のトンネルは本線の新大名倉トンネルの真ん中くらいに抜けるので、そこを起点に両側に向かって掘り進めるといった手順で工事をしました。

\*ECI方式／Early Contractor Involvement 方式  
設計段階から施工者が工法提案等の技術協力を行うことで工期短縮やコスト削減等の効果が期待される。



工事用のトンネル(左下)と新大名倉トンネル(右上)

– 2つのトンネルをつなぐ道路は下から見上げると巨大な壁のようですね。

この道路は補強土壁という工法でつくっています。コンクリートの壁材を積み上げて垂直な壁をつくっているのですが、壁の内側には細長い鋼材がいくつも入っていて、土で挟み込みながら壁と土を一体化させ、その上に丈夫な道路をつくります。実はこの中に入っている土はトンネル工事で出た土を使って有効活用しているんですよ。高いところは18mの高さがありますので、ビルの6階くらいに相当しますが、これほどの高さは他ではなかなか見ることができないと思います。



補強土壁でつくられている2つのトンネルをつなぐ道路



上写真/地元の皆さんとのへぼ追いの様子  
下写真/竹の切り出しの様子(左)と完成した門松(右)

- 清水建設さんの現場事務所は設楽町の和市にあります。皆さん普段はそこで生活しているとか。

そうなんです。土日は実家に帰る社員もいますが、平日は和市の現場事務所ですべて寝泊まりしています。約2年半前（令和3年7月頃）から和市で生活していますが、日頃から地元の方にはとてもよくしていただいています。ある日には地元の皆さんから「へぼ追い」に誘っていただき、こよりを結えた蜂をみんなで追いかけて巣を見つけ出すという貴重な体験をしました。またある日には、門松の作り方を竹を切り出すところから教えていただきました。完成した門松は実家で大切に飾っています。

-ところで、後藤さんは設楽町出身とお聞きしましたが。

名倉の出身です。中学卒業後は外に出ていましたが、ふるさとの設楽町で仕事ができるというのはとても感慨深いです。誇りに思います。この現場で働く前は実家に帰るのは年数回程度でしたが、今は仕事が終わった後に実家に足を運び、両親と夕食を一緒にとることができています。将来は両親を連れて完成したこの道を通りたいですね。



-工事は間もなく完了します。これまでの約3年間の工事を振り返るといかがでしょうか。

この工事は中部地方整備局で初のECI方式の土木工事だったので、当初は相当プレッシャーがありましたね。また、工事は構造物をただつくれば良いというわけではありません。安全、品質、環境に十分に配慮しながら行う必要がありますが、何より全作業員が怪我をすることなく、最後まで無事故・無災害で工事の完了が迎えられるように目配り気配りを欠かさないようにします。

それから、私（石川）は以前、新城市で数年間仕事をしていました。そのときは家族も一緒に新城市で暮らしていて、仲良くなった方々、お世話になった方々が大勢います。その人たちの暮らしや安全・安心を支える設楽ダム建設事業に関わらせてもらえたということはとても嬉しいですね。



新大名倉トンネル～日掛トンネル周辺の遠景

## ダム情報

# 『森林（もり）Fes in SHITARA2024』で ウッドチップ材を無料配布します

設楽ダム建設事業で伐採する森林資源のうち、小径木や枝葉をウッドチップ化してバイオマス発電に活用しています。この度、3月17日（日）に道の駅”したら”で開催される『森林（もり）Fes in SHITARA2024』にて、このウッドチップの無料配布を行いますので、希望される方はこの機会に是非お越しいただきご利用ください。



【配布日時】令和6年3月17日（日）

10時00分～16時00分

【配布場所】道の駅したら 臨時駐車場 ※右案内図参照

- 🌿 当日限りの配布で予約は不要です。
- 🌿 袋や容器はご自身で用意いただき、ご自身で積み込み運搬をお願いします。
- 🌿 数量に制限はありませんが、なくなり次第終了となります。  
※その場で担当者がご活用方法をお伺いしますのでご承知おきください。

【問合先】設楽ダム工事事務所 調査課

TEL 0536-62-1292



## TEC-FORCE（テックフォース）を派遣しました

令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県輪島市に当事務所からTEC-FORCEを派遣し、被害状況の現地調査を行いました。

【派遣期間：1月21日～1月23日及び1月27日～2月2日】



### 💡 TEC-FORCE / Technical Emergency Control FORCE

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災害が発生した場合に派遣され、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します。

## 国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所

HP <https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>



### 新城庁舎

〒441-1341 新城市杉山字大東57

総務課 TEL (0536)23-4331 FAX (0536)23-4401

用地第一課 TEL (0536)23-4387 FAX (0536)23-4408

用地第二課

### 設楽庁舎

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田1-2

工務課 TEL (0536)62-1290

調査課 TEL (0536)62-1292 FAX (0536)62-1291

工事課 TEL (0536)62-1293